

## Translation Helper 日本語版 ご使用上のお願い

ソース移植用補助ツールTranslation Helperの使用上の注意事項を連絡します。

- H8/300HシリーズおよびH8SファミリからM16Cファミリへソース変換する場合の注意事項

### 1. 該当製品

Translation Helper V.1.0.00 ~ V.1.2.00

### 2. 内容

Translation Helperでソースを変換することによって呼び出される場合がある set\_iflag, get\_iflag, およびbtsts関数の定義に誤りがあります。

#### 2.1 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に、誤りのある関数が呼び出されます。

- (1) 変換前のソースにset\_imask\_ccr, get\_imask\_ccr, およびtas関数のいずれかを含む。
- (2) Translation Helperで(1)の関数の変換を実行する。

Translation Helperは、発生条件(1)の関数を次のとおり変換します。

- set\_imask\_ccrをset\_iflagに変換
- get\_imask\_ccrをget\_iflagに変換
- tasをbtstsに変換

#### 2.2 発生例

```
-----void func(void){ unsigned char uc; uc  
= 1; set_imask_ccr(uc); // 発生条件(1) uc = get_imask_ccr(); // 発生条件(1)  
tas(&uc); // 発生条件(1)}-----
```

### 3. 対応策

Translation Helperにより生成されたM16C用High-performance Embedded Workshopプロジェクトディレクトリ内のヘッダファイルH8toM16C.hを以下のように修正してください。

### 3.1 set\_iflag関数の定義(63行目から71行目)

```
修正前:-----63:
_set_iflag .macro64: .local L1,L265: and.w #1,R066: jc L167: fclr
I68: jmp L269: L1: fset I70: L2: ;71: .endm-----
-----修正後:-----
-----63: _set_iflag .macro64: .local L1,L265:
and.b #1,R0L ; "and.w #1,R0"を"and.b #1,R0L"に修正する。66: jnz L1 ;
"jc"を"jnz"に修正する。67: fclr I68: jmp L269: L1: fset I70: L2: ;71:
.endm-----
```

### 3.2 get\_iflag関数の定義(72行目から76行目)

```
修正前:-----72:
_get_iflag .macro73: stc FLG,R074: shl.w #6,R075: and.w #1H,R076:
.endm-----修正
後:-----72:
_get_iflag .macro73: push.b R0H ; R0Hの退避命令を追加する。74: stc
FLG,R075: shl.w #-6,R0 ; "6"を"-6"にする。76: and.w #1H,R077: pop.b
R0H ; R0Hの復帰命令を追加する。78: .endm-----
```

- 3.3 btsts関数の定義を削除します。この定義を削除すると、tas関数呼び出しの変換結果であるbtsts関数呼び出しがリンクエラーになります。
- tas関数は、H8/300シリーズまたはH8Sファミリのコンディションコードレジスタを変更します。したがって、Translation Helperはtas関数を一意の関数に変換できません。tas関数の変換は、お客様自身で解決して頂くようお願いいたします。

```
(1) btsts関数のプロトタイプ宣言(44行目)を削除します。修正前:-----
-----44: static void btsts(unsigned char*);--
-----修正後:-----
-----44: /* static void
btsts(unsigned char*); */-----
```

```
----- (2) btstsのプリグマ指令(49行目)を削除します。修正前:-----
-----49: #pragma __ASMMACRO
btsts(A0)-----修正
後:-----49: /*
#pragma __ASMMACRO btsts(A0) */-----
```

```
----- (3) btsts関数の定義(60行目~62行目)を削除します。修正前:-----
-----60: _btsts
.macro61: btsts [A0]62: .endm -----
```

```
-----修正後:-----  
-----60: ;_btsts .macro      ; この行を含め3行をコメントアウトす  
る。61: ;  btsts  [A0]62: ;  .endm -----  
-----
```

---

**[免責事項]**

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

© 2010-2016 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.